

令和7年度

障害者の情報取得及びコミュニケーションに関する施策の実施報告

(共生社会実現のための障害者の情報取得及びコミュニケーションに関する条例
第7条関係)

1 情報取得及びコミュニケーション支援の充実				
(1) コミュニケーション等支援者の養成				
①講習会等の開催				
(ア) 手話通訳者				
名 称		開催時期	受講者数	修了者数
手話講習会				
	初級	4月～翌3月(全41回)	26人	-人
	基本	6月～翌2月(全28回)	8人	8人
	応用	6月～11月(全19回)	9人	4人
神奈川県手話通訳者 養成講習会		4月～翌3月	R6～R7 3人 R7～R8 3人	-人
手話通訳者現任者研修		3月(全1回)	-人	-人
(イ) 要約筆記者				
名 称		開催時期	受講者数	修了者数
神奈川県要約筆記者 (PC)養成講習会		4月～1月(全52回)	0人	-人
要約筆記者	PC	7月、10月(全2回)	6人	5人
現任者研修	手書き	1月、2月(全2回)	8人	8人
(ウ) 盲ろう者通訳・介助員				
名 称		開催時期	受講者数	修了者数
神奈川県盲ろう者通訳・ 介助員養成講習会		9月～12月(全15回)	0人	0人

(エ) 点訳・音訳ボランティア

名 称	開催時期	受講者数	修了者数
点訳基礎講習会	5月～3月（全37回）	10人	-人
音訳基礎講習会	5月～3月（全33回）	6人	-人

(オ) 失語症者向け意思疎通支援者

名 称	開催時期	受講者数	修了者数
神奈川県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会	7月～2月（全8回）	0人	0人

(2) コミュニケーション等支援者の派遣の拡充

①支援者の派遣

名 称	病院等	公的機関	その他	合計
手話通訳者	—	—	—	643件 (1月末)
要約筆記者	—	—	—	88件 (1月末)
盲ろう者通訳・介助員※	—	—	—	49件 (1月末)
失語症者向け意思疎通支援者※	—	—	—	0件 (1月末)

※盲ろう者通訳・介助員、失語症者向け意思疎通支援者については、神奈川県に委託しており、派遣先別で分けていません。

②点字図書館ボランティアの養成

iPadサポートボランティア養成講習会 3回 6人

(3) 情報取得及び情報コミュニケーションの支援のための機器の情報収集、利用普及

ヒアリンググループ等、多人数向けの聴覚支援機器の情報収集を行った。

2 コミュニケーション等手段の普及の啓発

(1) 市内の講演会等でのコミュニケーション等支援者の配置の啓発

①手話通訳者・要約筆記者の配置（2月末時点の年間見込み）

	行事数	配置人数
手話通訳者	26	171人
要約筆記者	6	20人

※毎年、市が実施する事業については、次年度の予算編成方針説明会にて、障害者への情報保障について説明を行い、不特定多数の市民を対象とする講演会や式典等への手話通訳者や要約筆記者の配置を依頼している。

(2) 障害者の理解を深めるための市民への啓発

①手話・要約筆記の初心者向け教室の開催

名 称		開催時期	受講者数	修了者数
初心者向け手話教室の実施		6～7月、10～11月 (全10回)	55人	46人
初心者向け	PC	2月(全2回)	6人	4人
要約筆記教室	手書き	9、10月(全2回)	9人	6人

②点字図書館見学の受け入れ

- (ア) 神奈川歯科大学の学生 2回(6/10・21人、6/17・22人)
- (イ) 浦賀小学校 1回(12/4・61人)
- (ウ) 衣笠ボランティアセンター 1回(1/29・7人)

③出前トーク等の実施

- (ア) 障害福祉課
 - ・衣笠地域第一包括支援センター 9月12日
 - ・長井地域運営協議会 11月26日
 - ・田浦地区社会福祉推進委員 障害者福祉部会 3月3日
- (イ) 点字図書館
 - ・視覚障害サポート協会 6月22日

また、4月30日に「移動制約者を理解するための研修」として、視覚障害者協会および聴覚障害者協会の協力を得て、京急電鉄の新人研修の中で、視覚障害者の誘導の実技と、視覚障害および聴覚障害を理解するための講演を実施。

④イベントにおける手話体験ブースの実施

6月1日に聴覚障害者協会および派遣手話通訳者連絡会の協力を得て、障害福祉課主催の「動物村のお祭り」で簡単な手話を体験することのできる「手話体験ブース」を実施。

参加者 延259人

また、手話言語の国際デーに合わせ、9月23日にコースカベイサイドストアーズで、「みんなで体験“手話”“きこえ”」と題し、手話および難聴の体験ブースを実施。東京2025デフリンピックの周知イベントも行った。

参加者 手話体験 延47人

難聴体験 延22人

⑤点字図書館フェスティバルの開催

6月1日に開催した「ふれあいフェスティバル」の一環として、点字図書館も参加。視覚障害者とその周りの方々のための「インクルーシブ防災講座」、便利グッズの展示、点訳・音訳の体験など、視覚障害者の理解を深めるための催しを実施した。

参加者 延266人

3 情報取得の機会の拡大及び方法の充実

(1) 点字版、録音版等、多様な方法での情報発信

① 広報よこすかの点字版・録音版の作成（2月末時点）

	送付総数（部）	送付先	
		個人（人）	団体
点字版	174	9	6
録音版	861	65	6

②市の発行物についての情報保障

(ア) 作成部数の多い発行物について、点訳・音訳を行う。

※毎年、次年度の予算編成方針説明会にて、他部課に依頼している。

(イ) 視覚障害者が使用する画面読み上げソフトを利用して閲覧できるよう、市のホームページに可能な限りテキストデータをアップロードする。

③アクセシブル行政資料作成システムの構築

視覚障害者に迅速に情報提供を行うため、テキストデータを音声に変換する合成音声システムを運用し、改善を重ねる。（音声データをCDで配布）

・作成した資料 点字図書館図書目録

(2) 不特定多数の人が集まる場所における音声、文字、手話、視覚情報等による情報提供の充実

横須賀市立総合医療センターについて、駅からの経路のバリアフリー状況や館内の視覚・音声案内の設備の状況などの視察を行った。